

令和元年度 第3回平田地域協議会 会議録（要約）

1. 日 時／令和元年10月24日（木）午後1時30分～3時30分
2. 場 所／平田総合支所 302号室
3. 出席者／
 - (1) 1号委員（団体推薦委員）
石井光一委員、田中井広志委員、佐藤美恵委員、長谷部耕次委員、
伊藤滋子委員、丸山 清委員、今井宣幸委員
計 7名
 - (2) 2号委員（識見委員）
石黒由香委員、須田祐司委員、長堀恵理委員
計 3名
 - (3) 酒田市平田総合支所
山口貴明支所長兼地域振興課長、佐藤まゆみ建設産業課長、
池田 豪地域振興課課長補佐、小林裕介地域振興課主任
計 4名
4. 欠 席
出席者合計 14名
高橋弘弥委員、熊谷一志委員、前田恵次委員、高橋美人貴委員、
高橋栄子委員 計 5名
5. 次 第
 1. 開会
 2. あいさつ
 - (1) 長谷部会長
 - (2) 山口支所長
 3. 会議録署名委員の選任
 4. 協 議
第2回開催の管内の現地確認による協議の他、管内の注意地点の
情報共有（現地確認地点）
 - ・十二滝付近
 - ・山楯急傾斜地
 - ・悠々の杜付近
 5. その他
 6. 閉 会
6. 会議録（要約）
 1. 会長・支所長あいさつ
 - ▶長谷部会長あいさつ
 - ▶山口支所長あいさつ

—— これより長谷部会長が進行 ——
7. 会議録署名委員の選任
 - ▶長谷部会長

はじめに、議事録署名委員の選任ですが、事務局から提案してください。

▶池田地域振興課課長補佐

恒例により会議録署名人については名簿の順番でお願いしておりますので、今回は須田祐司委員にお願いしたいと思います。

▶長谷部会長

異議ございませんか。

—— 一同、異議なしの声 ——

8. 協議

第2回開催の管内の現地確認による協議の他、管内の注意地点の情報共有

※経緯：第2回目の会議は平田地域の課題を委員皆さんで実地に視察し、第3回目では皆さんから実地に見た課題について委員の皆さんから協議いただき、第4回目では市長報告に向けて協議をまとめ上げてゆきたい。

参考

※令和元年度 第2回平田地域協議会開催

1. 日 時 令和元年9月18日(水) 午前9時00分～正午頃

2. 内 容 (アンケート集約結果の検討による管内の現地確認)

- ・十二滝付近
- ・山楯急傾斜地
- ・悠々の杜付近

3. 出席者

(1) 1号委員(団体推薦委員)

石井光一委員、田中井広志委員、佐藤美恵委員、熊谷一志委員、前田恵次委員、長谷部耕次委員、伊藤滋子委員、丸山 清委員、今井宣幸委員

計 9名

(2) 2号委員(識見委員)

高橋美人貴委員、石黒由香委員、高橋栄子委員、須田祐司委員、長堀恵理委員

計 5名

酒田市平田総合支所

山口貴明支所長兼地域振興課長、佐藤まゆみ建設産業課長、池田豪地域振興課課長補佐、渡辺一正建設産業課長補佐、小林裕介地域振興課主任

計 5名

出席者合計 19名

欠席者 高橋弘弥委員

計 1名

▶長谷部会長

現地確認した部分になるが、ひとつは十二滝付近という課題になる。平田町の一大観光名所地になるわけだが、旧町の財政 2億3千万円を投資した事実がある、しかし、崩落事故が発生した以後10年(H22年)なにも手立てを講じていないため、皆さんが見た現状がある。復旧については、林野庁の管理下に入っているため(何もしていないわけではないが)復旧に向けての行動は起こしたが、如何せん滝見台の崩落による危険性があるため、林野庁では簡単に許可しない現状である。

「どんな課題があって、その現場を示されているのかわからない。課題としている内容や意図(目的)を示してほしい。」という意見がアンケート結果にあったので、課題を説明した。それを踏まえて、皆さんからは現地を見た率直な意見を示して欲しい。一人ひとり順番で意見を

示して頂く。

▶石井光一委員

第2回で現地確認をしたが、十二滝単独での観光という開発は難しいと考える。上部、下部のどちらであっても滝を見るというのはさほど観光的に目玉とはならないのでは？

崩落があった滝見台から見るのが一番良いが現時点では難しい、経ヶ蔵の登山と合わせた形での観光の開発というのを拡げていくことができればよいと思う。

▶田中井広志委員

経ヶ蔵は山形百名山に入っている、一緒に物事を考えていく、危険な個所があるわけだが危険だから入ってはだめということではなく、注意喚起をして経ヶ蔵と一緒に合わせた形で行えばよいと思う。

▶長谷部会長

崩落事故が起こる前に橋の改修、売店の整備で2億3千万の投資を行っているわけだが、観光効果度は行政で把握しているのか？

▶山口支所長兼地域振興課長

年一回十二滝まつりを開催していた、秋には芋煮も提供していた。売店は地区の方が、後にはふれあい商工会で運営していた。ゲートもなく料金を頂いていたわけでもないで測るすべはない。八幡の玉簾の滝も同じではないかと考える。

▶長谷部会長

十二滝は北俣地区の一つの神社であり、ただの滝ではない。旧道側には鳥居があり、滝の奥には祠があって神社の体を成している、なかなか見ることはできないが。

地元の方々からの要望は信仰からの要望が多かった。もう一つは地域活性化のための地域の特産物の販売という出発点でもあった、当時は無駄ではないなという感触はあった。しかし、崩落で一瞬に消え去った、課題が大きいなというのが現実だ。

地元が考えるのは精神的、宗教的信仰の場が無くなるのは不安感が増していると思います。では、次をお願いします。

▶佐藤美恵委員

地元の信仰対象だと聞いて、自分は観光地と捉えていた。十二滝に観光客が来ていた時はテレビのCMでも放映されて印象に残っている。現地確認して自然が満喫できる場と感じた。市街地とは空気の感じ方が違うので、十二滝はマイナスイオンのますますきれいな自然があることを後押しして欲しい。子育て世代がキャンプ、芋煮でもできれば癒される場となる、危険でないように整備して欲しい。

▶伊藤滋子委員

昔の記憶では素晴らしいところと思っていた。あのような状態でせっかくなので勿体ない気がするが、金がかかるとどこで出すのか難しいと思うが、せっかくあれだけの自然もあるので何とかならないものかと思う。

▶丸山清委員

私は三つの点で引っかかった

1. 管理運営する団体は当時どうだったのか、これからは維持管理をどういった団体がするのか
2. イベントの復活で人を呼ぶのは良い
神社があってパワースポットにできるのでは、その日だけ神社の御朱印とか特別に発

行してもらえると、SNSで発信すれば興味がある方は遠くからでも来る。

3. そういったイベントすることによって集客した効果をどう測るのかを考える必要がある。

結論. 整備しなければいけないところの今できることをする。草を刈る、石を寄せる、車が近くまで行けるようにするとか。見栄えの良くないトイレ・危険な橋は撤去するかして宣伝できる場所があると思う

▶石黒由香副会長

地元においても前回の現地確認のような機会がある時しか行かない。土質が脆いので何を作ろうにも大変難しい、登山と一緒にイベントを企画することもよいと思う。ただ、今の状態を何とかして欲しい、橋、道、危険なところは今でも訪れる人はいるので、事故とかあると評判も悪くなるので新しいことをする前にメンテナンスして欲しい。

▶今井宣幸委員

以前は活気があったところが寂しいところになっていたのが第一印象、岩盤が弱そう、また大きな崩落が起きるとお金を投資しても費用対効果から見ると不可能ではないか。橋はなくても良い、撤去して自然に戻すのも一つの魅力、元の自然な形に戻して散策に支障がないようにして、山に詳しい方々に案内していただきながらイベント風にハイキングとかをして頂きたい。橋の撤去の有無を検討の上で、撤去の見積もりをして予算が組めるか検討して欲しい。

▶須田祐司委員

今年から十二滝がジオパークに登録なった、滝見台が無くとも現状で認定になったので橋を直す必要はない。学校の自然教室でも経ヶ蔵登山に行っている。十二滝も里山の会で草刈りをした。橋の撤去の見積もりの話を聞いているがどうか？今年出したと聞いている。

▶長谷部会長

支所が聞いてないとすれば、整理してはっきりして欲しい。

▶長堀恵理委員

昔は小学校のころに遠足とかに行った、大人になってからは前回初めて行ったが下り（に使った）の道が荒れていて歩くのは危険だと思った、予想よりも形が変わらなく滝があったが山が崩れているのは寂しい。岩の上に祠があるのは初めて知った、魅力がいろいろあると思ったが元に戻すには難しいと感じた。何とか元に戻せなくとも今よりきれいにする方策を立てて欲しい。

▶長谷部会長

今日の出席の皆さんから意見を頂戴した、この意見についてまた協議するのは次の課題もあるので、議事録が出来上がって市長報告をまとめ上げる段階で調整を諮っていきたいと思います。これでどうですか？

▶山口支所長兼地域振興課長

委員の皆さんの話を一通り聞きますと、橋は無くしても良いと感じたが今後の方向性についてだけ確認したい。如何でしょうか？

▶長谷部会長

一人ひとり確認するのか？

—— 挙手で良いとの声あり。 ——

▶長谷部会長

今日は欠席も多いことから意見調整はしないつもり、本来であれば地元の意見も聞かないといけないのではと思う。地域協議会に絶対的な権限を与えられているわけではない。皆さんの意見を集約して、地元フィードバックして行くなど手法手段を考えていくのが協議会で、決めることはしたくない。

▶今井宣幸委員

地元の意見は別の機会に聞けば良いと思う、今日はこのことのために集まっている訳で、集約するというのではなく橋の撤去についての是非について意見を聞くのは良いのでは？

▶長谷部会長

地域協議会の意見が先行するとどうしても流されてしまうので、地元の意見も聞いて調整をしなければならないと思う。

▶須田祐司委員

里山の会では草刈り、トイレの掃除もしている。それは地元でできないからこうなっている、現状維持どころか誰も入らないともっと荒れていく。

▶長谷部会長

地元到我々の意見がこうだからと言っても駄目で、手法の一つであろうがそれが最大の良い方法かと言ったら地元住民の意見を全然聞かないということはありません。今日は答えは出せません。

▶田中井広志委員

地域協議会は協議をした中で方向性を出さないといけない、地域協議会の方向性を示さないと住民と話しをするにしてもなかなか前に進まないと思う。

▶山口支所長兼地域振興課長

先ほど里山の会で橋の撤去について見積もりも出しているとあった、そうやって動いているところもあり、片や反対の意見もあるのではという点だけでも確認したいと思う。
如何でしょうか？

▶長谷部会長

では、如何しますか？

—— (挙手で決めることに) 賛成の声あり。 ——

—— 撤去に賛成 7名 (石井光一委員、田中井広志委員、佐藤美恵委員、今井宣幸委員、石黒由香委員、須田祐司委員、長堀恵理委員) ——

▶長谷部会長

今日の出席者の内7名が撤去に賛成となっております、事務局では記録を取っておいてください。

▶佐藤まゆみ建設産業課長

委員の皆さんからは第2回において現地を見て、遊歩道などが荒れている、少し危険など

ころもある。滝見台が崩落してから10年間何も手を付けずに来てしまったのは残念。今年に入ってから遊歩道の整備といったことを、来年に向けて交流観光課に働きかけをして、先日、交流観光課と業者の方と現地を見て見積もりを出してもらい、来年度の予算要求に向けて動き出している。ただ、交流観光課がどのような形で予算要求をするのか詳細は決まっていない。そういった動きがあるということをお伝えする。

▶長谷部会長

次の山楯の急傾斜地の問題を課題といたします。
行政から何が問題となっているかの課題の説明をお願いします。

▶山口支所長兼地域振興課長

豪雨により神社境内地前に亀裂が入った、河川砂防課と対応して防水の対応をした。裏の本殿の崩落は2年くらい前。地元から相談あったが、神社用地、個人の裏山であるという点が難しい、今の制度では対応できない。山を背負った平田にそういった危険箇所がある。これまでも管内の5軒以上ある箇所は家屋連坦で急傾斜地の対応してきたが、できない家が点在していくことが考えられる、そういった意味で今回課題として現地を見て頂いた。

▶長谷部会長

今現在では対応する方法はない。ただ、民地はできない、神社、寺の裏山があるが、何もしないで黙っていてよいのか。田沢新田の加藤氏の裏山については、地域から要望が出てきている。一つ一つ見てゆくと結構ある、点在ということだけで済ましてよいのか、これでは住む人間が誰もいなくなる。少しでも軽減する方法を考える必要がある。

では、皆さんから意見を頂きたい。

▶長堀恵理委員

現地を見たときに、階段を上っていくときの右手側が民家だったので怖い思いをしているのではと思った、神社だから下手に触って大丈夫なのかと思った、神社の裏側である反対の方は崩れたりしないのかと思った。

▶須田祐司委員

行政が打つ手がないのであれば、地域協議会で要望書を出すことは出きないのでしょうか？

▶長谷部会長

以前、旧平田町で要望書を出して急傾斜地対策の第1期指定地となって全て対応済みとなった。今後要望書は酒田市として出さなければいけない、そうすると旧松山地区は該当箇所はないが旧八幡町、旧平田町は該当箇所がある、旧八幡町はこちらより該当箇所が多い。

もしやれるのであれば旧2町で市の方に要望書を出せばよいという意見を伺っている。

▶今井宣幸委員

地域協議会で取り上げるのは疑問、地域のことなどに関して詳しいのはコミ振、自治会長等で、檜橋、新山の例を出すと片方は農地（民地）、片方は河川沿いのところが崩落してどちらも直しているが、関係先がどこか等の情報は自治会長が詳しい、一番現状を把握しているところで意見を出すほうが良い。

▶石黒由香副会長

この課題については、十二滝の橋の問題のようにA、Bのどちらを取るということではないと思う。行政が手段がないということに意見を言うのは難しい、自治会長会、コミ振から情報を提供してもらい地域協議会で協議して連名で強化して要望を出すという手段もあるの

ではと思う。

▶丸山清委員

現地を見て感じたのは、近いうちに崩れると思う、道路から下の方に土砂が流れていくのではと感じた。平成22年の大雨の時に発生したというのが、神社ですから昔からあのような危険があったところだと思いますので将来新たに危険が生じる、地元が動きやすいように応援したい。

▶伊藤滋子委員

神社が絡むので政教分離と言われてしまうではと思っていたがそうではないようだが、他の同じような事例では、神社と地元と一緒に陳情を重ねて要望しできたところもあると聞いたので、あそこの神社も近所の住民の力を借りて同じようにできないのかと思った。

▶佐藤美恵委員

急傾斜地は山楯だけではなく他にもあるので、管内にある地点をまとめて要望してはどうか。管理者、地元、地域協議会、コミ振が協力して要望を出した方が良い。

▶田中井広志委員

人身に絡む危険性が高い、要望書を出して早急にして欲しい、特に夜間に発生した時の危険性を感じた。地域協議会でもできる方法を考える必要があると思う。

▶石井光一委員

急傾斜地の元田沢は2期工事している、3期工事は令和2年で行い完了する。家屋連担5件ははっきり決まっている、山楯の神社の急傾斜地は自治会の意見が大事なので、地域協議会として取り上げる問題ではないと思う、地元自治会が要望すべきと思う。

▶長谷部会長

皆さんの意見を伺いますと、大変なことであることはわかっているがすぐに安全なものにすることは制度的なことも含めて我々民間のサイドでは如何ともし難い、しかし、地域には危険が現実的に存在している、何もしないでもいいのかと言われれば共同で要望していくというのが大多数の方の意見であると思います、行政の方はどう受け止めるのでしょうか？

▶佐藤まゆみ建設産業課長

急傾斜地については鶴岡市には市単の制度がある、まとまった形で声を出して補える制度を市に要望してゆくのが良いと考える。

▶山口支所長兼地域振興課長

今年度の県事業で山楯の右手側は終わった、今度は左手側に入ると聞いている、人家の方の整備は進むのでは。山際に住む点在するところの課題はある、まとめるとすれば国、県の事業に該当しないところに地域協議会として提言しても良いのではないかと思います。

▶長谷部会長

次の悠々の杜付近の課題に移ります。
自分は悠々の杜という認識がなかったが？

▶山口支所長兼地域振興課長

悠々の杜の開発プロジェクトを立ち上げ、温泉も整備した、当初はもっと壮大な計画だった。合併の影響もありあのような状況になっている。現在は里山の会から関わってもらっている、遊歩道の整備、年数回の草刈り、中学生などからチップ敷きの手伝いなどもしても

らっている。

▶須田祐司委員

あそこは雑木林なので木に銘板などを貼って学習する広場として活用している、交流観光課から苗木など提供してもらい植栽も行っている。

悠々の杜推進協議会を立ち上げている。

▶山口支所長兼地域振興課長

悠々の杜についての課題ではなく、今後の整備の方向性に意見を頂きたいとして選定したものです。

▶長谷部会長

確認したいのは、合併してからの地区の今の人口、悠々の杜を起点にした将来の効果、展望を示せるのかということ。

▶山口支所長兼地域振興課長

あそこは眺望も良いところですし、温泉の方もまずまずのところでは推移している。

人口については、5,600人くらい、その内高齢化率は管内で37～8%になっている。

そういったことも含めて、観光のあり方は難しい局面に来ているかなと思う。

—— 以後は、意見のある方のみ発言 ——

▶須田祐司委員

悠々の杜推進協議会として、市長に協定書を締結して欲しいと出しているが締結には至っていない、地域協議会からもお力添えを頂ければと思う。

▶丸山清委員

協定書の具体的内容は？

▶須田祐司委員

エリアの維持管理については現在も交流観光課からの苗木などの提供や協賛企業、個人からの賛助金、温泉施設からはボランティア活動に対する無料入浴券の提供など頂いているが、悠々の杜推進協議会に酒田市があこのエリアの利活用についてその都度許可を取ることを無く、認めて頂きたいということ。

▶石黒由香副会長

伺いますが、アスレチックのようなものはありますか？

▶須田祐司委員

危険を伴うような遊具は維持管理上、設置しないようにしている。

自然とのふれあいの場所として整備を行っている。

▶長堀恵理委員

アスレチックは作らないというが、それでは落ち葉を集めて、少し高いところから子どもが飛び込めるような遊び場は如何でしょうか？

▶須田祐司委員

皆様からの意見を検討したい。

▶長谷部会長

皆さんから様々な意見を頂きましたが、ではこうしましょうと決められないのが今日の会議であります。

予定の時間も過ぎたので、その他ないようでしたらこれで閉会したいと思いますよろしくお願いしますでしょうか。

—— 一同、異議なしの声 ——

それでは閉会のあいさつを石黒副会長お願いします。

9. 閉 会

▶石黒由香副会長

いろいろな意見を出して頂きありがとうございました、今日の議題はこの地域にある問題の氷山の一角なので、地域協議会委員はアンテナを張って事前に課題を挙げて頂きたいと思っています。

これで令和元年度第3回平田地域協議会を閉会いたします。

会議録署名委員 _____